

5病棟

5病棟は介護病棟です。介護を必要とする要介護3以上の方が入院されています。
病床数 60床 スタッフは看護師 13名 介護士 15名 入浴ヘルパー2名 クラーク 1名の計 31名で業務を行っています。

長くなりがちな入院生活を少しでもささえることができるように、スタッフ一同日々努力を重ねています。

毎月のお誕生会や季節ごとの行事のレクリエーションは、病棟課長の熱の入った演技で盛り上がりがないことはないくらい楽しい催しです。

(一度見にきていただきたいくらいです。) 明るく素直な態度でお互い気持ちよく仕事ができる部署を目標に掲げ、これからも患者様のよりよい介護ができるよう努めていきます。



秋祭り



9月12日(土)、毎年恒例のあきた病院秋祭りが開催されました。

オープニングはモロナイ保育園の可愛い園児たちによる太鼓演奏(うぶり〜♪)。

次に、ボランティアグループさくら草様による一休さんの踊り(ファンシ〜♪)、ダンススクールB-P.zyl様によるヒップホップダンス(プリティ〜♪)、砂原劇団様による肥後にわか(ジョリ〜♪)、吉永フラ・タヒチアンダンススクール様によるタヒチアンダンス(セウシ〜♪)、もうステージから目が離せません! 患者様もお客様も大喜び! 最後にじゃんけん大会やお楽しみ抽選会で会場が一つになって盛り上がりました。今年は天気にも恵まれ、多くの方にご来場いただきました。開催にあたり、ボランティアの方々や地域の方々、駐車場やテントの借用ではJA熊本飽田支店様や飽田中学校様など、たくさんのご協力をいただきまして本当にありがとうございました。『入院患者様やデイサービス、グループホームの施設利用者様に、少しでも外の気分や祭りの活気を味わって頂きたい』そして『患者様のご家族や地域の皆様と一緒に楽しい時間を過ごしたい』という思いで始めたこの秋祭り。来年もたくさん笑顔が観れるように職員一同頑張ります! 今後ともどうぞよろしく願いいたします!



骨とは...

今回は骨についてのお話です。ヒト成人には約206個の骨があります。構造としては、コラーゲンという“鉄骨”にリンやカルシウムという“セメント”がくっついてできる「鉄筋コンクリート」と思ってください。



一旦形が出来てしまうと一生そのままかと思われがちですが、年をとっても日々作り替えられています。

骨を溶かす「破骨細胞」、逆に骨を造る「骨芽細胞」とがあります。イメージとしてはショベルカーで穴を掘って、移植ゴテでその穴を埋めていく様なもので、約4ヶ月間かけて繰り返されています。両細胞の働きのバランスが良いと骨量が維持できていきますが、バランスが崩れて特に破骨細胞の働きが増すと骨量が減少し『骨粗鬆症』を発症します。



女性ホルモンからの影響も強く受け、閉経後、特に70歳以降になると些細な事で骨折してしまいます。くれぐれも重い物を持ち上げたり、転倒しない様に気を付けておきましょう。

(☆ Dr.Omishin ☆)

マッシュマロミキティの健康レシピ

あたたかいものがおいしい季節になりましたね。今回は、とても簡単でおいしく、からだにもうれしいレシピのご紹介です。さばの缶詰をまるごと使った、“ちゃんちゃん焼き風”の一皿。缶詰は長期間保存ができ、料理の材料として便利に使うこともできますよ。たっぷりのお野菜と一緒にどうぞ。

『さば缶と野菜のうま煮』

【材料(2人前)】

- さばの味噌煮缶…1缶
- カット野菜(炒め物用)…1パック(約200g)
- ※食材の目安…キャベツ2枚・もやし1/2パック・ピーマン1/2個・人参1/5本

その他、お豆腐やきのこなどいろいろな食材によく合います。

【作り方】

- ① 耐熱のお皿や容器にカット野菜とさばの缶詰を汁ごと入れる。
- ② ラップをふんわりとかけて、電子レンジ(600W)で約5分間加熱。出来上がり♪

魚に多く含まれる栄養素DHAやEPAが缶詰にもたっぷりです!



ことばの発達相談



お子さんのことばの発達に関する疑問、園での対応、日常生活における悩みなどについて専門の相談員が詳しくお答えします。

日時：毎月月曜1回(9:00~16:30 1組につき1時間程度)

対象：就学前のお子さん、その保護者 <予約制・無料>

あきた病院 リハビリテーション科 ことばの発達 担当まで